

府中市健康地域づくり審議会
第7回次世代創造分科会 報告書

- 1 日 時：平成26年5月30日（金） 13：30～15：00
- 2 場 所：府中市役所2階第1応接室
- 3 出席者：谷 秀 樹（分科会会長） 板 橋 千代美（分科会副会長）
吉 原 純（分科会委員） 宗 藤 正 典（分科会委員）
下 澄 子（分科会委員） 藤 井 敬 子（分科会委員）
出 原 慎 之（分科会委員）
山 上 秀 樹（府中市教育委員会学校教育課）
河 村 久美子（府中市子育て支援センター）
古 川 教 子（府中市立上下保育所）
- 4 概 要
 - (1) 開 会
 - (2) 分科会長あいさつ
 - (3) ①議事「府中市子ども・子育て支援事業計画」策定について
 1. アンケート結果（クロス集計及び自由回答）の報告
 2. 府中市子ども・子育て支援事業計画骨子（案）の説明
 3. 府中市次世代育成支援後期行動計画の進捗状況の説明
 - ②議事 健康地域づくり審議会の第1次提言による施策の進捗状況と子ども・子育て計画に盛り込む施策の展開について

【主な質疑・意見】

委員；子どもの遊び場についてどう思われるか。

委員；放課後に学校の門がしまっている。学校で遊べたら良いのではないか。

委員；保育所も、遊具が荒らされたりする。チェックが大変だ。

委員；公園も以前とは変わっていないのでは。

委員；昔は、川や空き地で遊んでいた。

委員；いまや、子どもに何かあると責任問題になる。

委員；子どもだけで遊ばせていないので、遊具がないと山や川が遊び場と思わないのでは。

委員；親になるための心がまえがいる。居場所づくりにはリスクが伴うため、リスクを受けとめることをレクチャーしていく必要がある。公園整備より、学校をあけるための準備がいる。小学一年生で初めて道路を歩く子もおり、歩き方もわかっていない。小学校に入って突然子どもだけで歩かせるのではなく、練習が必要。また、子どもを危険から守ろうとするあまり、子どもの世界を狭くしている過保護な保護者も多い。

保育園で、料理のお手伝いについてのデモンストレーションがあり、好評だった。

たと聞いた。しかりすぎているという保護者もアンケートでみられるが、核家族だと祖母などの見本がないので、しかり方もわからない。このようなデモンストレーションが保育園であると助かる。

委員；認知症のロールプレイングのように、取り入れてみたらどうか。

委員；親子教室などでやってはどうか。

委員；全体のライフプランをイメージできることが大切。何もかも充実ではなく、現在の資源の中で自分の人生をどうしていくのか考えた方が良い。女性連続サポートで、早めに子どもを産んだら、あとで時間がとれるなど教えてもらうと良い。お父さんがサポートしてくれないと難しい時代。

委員；若い人はえらい。何かできればいいが、何をしたら良いのか。

委員；要望ばかりが多い。あるものでどう満足していくのか、一人ひとりが学ぶ場所を作っていくべき。市民も考えていくべき。

男性も学んでいくべき。企業の力をかりて入っていかないと大変だ。嫁は夫にあたるが、聞き流したり受けとめたりできるよういかに教育するか。

委員；支援やハコの充実だけでなく、使う人の教育が必要。啓蒙が第一。市民公開講座をしてはどうか。

委員；幼児教育について、今の子どもは脳が発達している。昔の小2くらいの力。早い子は漢字を書いている。保育ばかりでなく、幼児教育にも考慮すべき。今までの教育の進め方で良いのかと思う。しつけ、集団生活、ゆずる心も大切。きょうだいの数が減っていることもあり、一人の子へかける労力が大きすぎる。ある程度子どもも情報は入っている。信頼してあげてほしい。

委員；子育て支援サイトちゅちゅは活用していない人が多い。イベント行事の再確認くらいで見る程度。再構築よりも、母子手帳の見直しをしてほしい。スタンプラリーをつけて支援センターに行ったらスタンプをもらえ、府中特製の食器セットなどのプレゼントがもらえると良い。友達をつくるきっかけとなれば良いし、子どもができたところから仕組みをつくってはどうか。

事務局；ちゅちゅの再構築は、予算化されている。母親向けだが、結婚からトータルでサポートしていくHPにしていける予定。現場のご意見はありがたい。

委員；困った人へのサポートができるグループができれば…。子育てサロンを10年して、何人かそういう人に出会った。支援センターの紹介などをしている。

委員；保育所に入るまでに育児で悩む人が多い。3才まで家にいる人など。情報をももらえたら、ハイハイの練習などができる。個人情報の問題はあるが、どこかでつながりのきっかけを与えられれば。

事務局；今後いただいたご意見を盛り込みながら、次回は数値も示していく予定。次は8月。